

授業科目名 <英訳>	西洋史学(特殊講義) European History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 小関 隆					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 後期	曜時限	水4	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	第一次世界大戦の「長い影」(Part 2)										
【授業の概要・目的】											
前期の授業に引き続き、第一次世界大戦が惹起した諸問題の展開を通して「現代世界」の特質を考えるが、時期的には第二次世界大戦以降に主眼を置く。これまた前期の授業と同じく、イギリスに議論の焦点を合わせつつ、アイルランド、アメリカ、さらにはヨーロッパ大陸諸国の情勢にも目を配る。とりあげる論点は、第二次世界大戦の衝撃、「戦争犯罪」、福祉国家、冷戦、ヨーロッパ統合、第一次世界大戦研究、記憶、等である。20世紀全体に投げかけられた第一次世界大戦の「長い影」を理解することが授業の眼目となる。											
【到達目標】											
「ポスト第一次世界大戦の世紀」として20世紀を把握する能力を身につけること。											
【授業計画と内容】											
以下に掲げたテーマの各々につき、1～3回程度の授業を充てる予定である。											
(1) 第二次世界大戦の衝撃 (2) 「戦争犯罪」 (3) 福祉国家 (4) 冷戦 (5) ヨーロッパ統合 (6) 第一次世界大戦研究 (7) 記憶 (8) その他											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
レポートによる評価を基本とする。											
【教科書】											
使用しない											
----- 西洋史学(特殊講義)(2)へ続く -----											

西洋史学(特殊講義)(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

以下の文献を参照することが望ましい。

山室信一・岡田暁生・小関隆・藤原辰史(編)『現代の起点 第一次世界大戦』(全4巻)岩波書店2014年。

人文書院刊の「レクチャー：第一次世界大戦を考える」シリーズ(既刊12冊、続刊予定)。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。